



正副議長決まる！ p2
第2回臨時会の概要 p3~p6
第2回定例会の概要 p7~p9
一般質問 p10~p17
高台整備の現状を確認 p18

来年こそは
灯せますように！

美波町 議会だより

第59号

2022年（令和4年）

第2回臨時会
第2回定例会



議会の詳しい情報が
閲覧できます。



令和4年8月12日 発行：徳島県美波町議会

正副議長決まる！



議長

春田裕計

二元代表制の一翼を担う議会として、町政の監視機能を果たしつつ、町民の皆様の声に真摯に耳を傾けながら、積極的に政策立案や提言に取り組み、議会としての役割を果たして参りたいと考えております。



副議長

松本晋児

このたび、美波町議会臨時会におきまして、副議長に就任いたしました。議長を支え、公正かつ円滑な議会運営に努めて参りますので、よろしくお願いを申し上げます。

◆ 委員会 の 紹介 ◆

委員会及び委員名	所管内容
総務産業建設常任委員会（6名） ◎向山篤宏 ○片山正敏 丸龍孝敏 小部博正 春田裕計 遊亀聖悟	総務課、政策振興課、税務課、産業振興課、消防防災課、建設課及び水道課に関すること
文教厚生常任委員会（6名） ◎岩瀬 公 ○北山朝彦 戒野 博 鈴木健宏 中川尚毅 松本晋児	住民生活課、福祉課、健康増進課、こども園、教育委員会、病院、診療所及び税務課のうち保健医療に関すること
議会運営委員会（6名） ◎丸龍孝敏 ○遊亀聖悟 岩瀬 公 鈴木健宏 中川尚毅 向山篤宏	議会の運営全般、会議規則や委員会条例等に関すること
議会広報特別委員会（5名） ◎北山朝彦 ○小部博正 片山正敏 鈴木健宏 遊亀聖悟	議会活動を知らせる、「議会だより」の発行など議会の広報に関すること
防災高台対策特別委員会（6名） ◎丸龍孝敏 ○中川尚毅 岩瀬 公 鈴木健宏 松本晋児 向山篤宏	災害対策、高台整備事業等に関すること
国民健康保険運営協議会委員（3名） 春田裕計 岩瀬 公 北山朝彦	国民健康保険運営事業に関すること
議会選出監査委員 片山正敏	行政監査及び事務監査等に関すること

◎：委員長 ○：副委員長

第2回臨時会の概要

令和4年4月24日執行の美波町議会議員一般選挙後の初議会で、正副議長を選出、常任委員会及び特別委員会の設置、事務組協議員の選任、国民健康保険運営協議会委員の選任及び議会選出の監査委員を選任した。

影治町長提案の報告3件、専決処分報告1件、組合規約の変更議案1件等を審議し、後期高齢者医療広域連合議員として春田議長を選出した。

各議員の賛否（全会一致の議案）

議 案		結果
報告第4号	令和3年度水道事業会計繰越計算書	承認
報告第5号	令和3年度病院事業会計繰越計算書	承認
議案第29号	徳島県市町村総合事務組合規約の変更	可決
議案第31号	監査委員の選任	同意

※議案の名称は短縮してあります。

各議員の賛否（賛否の分かれた議案）

議長…一 賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議 案	議員名（議席番号順）	鈴木健宏	北山朝彦	中川尚毅	松本晋児	岩瀬公	片山正敏	戎野博	遊亀聖悟	春田裕計	小部博正	丸龍孝敏	向山篤宏	結果
報告第3号	議会委任の専決報告													
専決第3号	令和2年度日和佐浦西線排水路改修工事の一部変更契約	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	承認
専決第4号	令和2年度高台整備工事の一部変更契約	○	×	×	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	承認
専決第5号	令和3年度高台整備工事の一部変更契約	○	×	×	○	○	○	×	○	—	○	欠	○	承認
議案第28号	専決処分の承認を求める													
専決第6号	税条例の一部改正条例の制定	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	承認
専決第7号	国民健康保険税条例の一部改正条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	承認
専決第8号	令和3年度一般会計補正予算	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	承認
専決第9号	令和3年度国民健康保険会計補正予算	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	承認
専決第10号	令和3年度簡易水道会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	承認
専決第11号	令和3年度漁業集落排水会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	承認
専決第12号	令和3年度公共下水道会計補正予算	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	承認
専決第13号	令和3年度国民健康保険診療所会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	承認
専決第14号	令和3年度後期高齢者医療会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	承認

※議案の名称は短縮してあります。

議長に春田議員

副議長に松本議員が当選

議長選挙結果

春田議員 8票
北山議員 3票
向山議員 1票

副議長選挙結果

松本議員 6票
中川議員 3票
北山議員 1票
戎野議員 1票
向山議員 1票

春田議長を各組合議員に選任

海部郡特別養護老人ホーム事務組合議員
海部老人ホーム町村組合議員
海部郡衛生処理事務組合議員
海部消防組合議員

◆専決第3号
専決処分報告
令和2年度日和佐浦西
線排水路改修工事の一
部変更契約

内容 既設水路の構造物取壊
等。

契約金額 約8371万円
(40万円増額)
契約相手 (株)亀谷建設

質疑 北山議員
40万円足らずの軽微な
増額、予測できなかったの
か。

答弁 濱建設課長
地下の埋設物、開けて
みないとわからない部分の
差異が出た。

採決結果 承認
(賛成9・反対1)

◆専決第4号
令和2年度高台整備工
事の一部変更契約

内容 1号調整池等の軟弱地
盤対策で、地盤改良面
積の追加等。

契約金額 約1億5816
万円
(328万円増額)
契約相手 (株)亀谷建設

質疑 中川議員
変更契約が多いが、ど
うなっているのか。

答弁 濱建設課長
着手前測量と現地測量
をすり合わせた結果差があ
り部分変更となった。契約
に関しては、変更が生じな
いように努力していく。

採決結果 承認
(賛成8・反対2)

◆専決第5号
令和3年度高台整備工
事の一部変更契約

内容 排水路等の軟弱地盤対
策で地盤改良面積の追
加等。

契約金額 約5248万円
(199万円増額)
契約相手 (株)亀谷建設

質疑 北山議員
専決第4号と同じ業者
であり、見積が甘かったの
か。変更の内容がわかりに
くい。

答弁 濱建設課長
排水路沿いの公園盛土
の範囲の拡大や工事の円滑
化のため地盤改良範囲を追
加する。

採決結果 承認
(賛成7・反対3)

◆専決第6号
税条例の一部改正条例
の制定

内容 地方税法改正により個人住民税の住宅ローン控除と、固定資産税の土地負担調整措置の継続。

質疑 中川議員
町民向けの説明書を作る予定はあるか。

答弁 別宮税務課長
予定はないが、申告があった方には全て説明している。

採決結果 承認
(賛成9…反対1)

◆専決第8号
令和3年度一般会計補
正予算

内容 繰越明許費の追加や変更で、歳入歳出予算総額を69億7300万円(約

5億9543万円減額)とする。

質疑 中川議員
繰越理由は。

答弁 浜総務課長
例規整備事業は、国家公務員法改正が遅れたため、町職員の定年年齢引き上げが繰り越された。

旧由岐病院跡地整備は、補助関係で2カ年計画とした。(病院官舎解体負担金も含む)。

質疑 岸本政策推進課長
谷屋保存改修事業は、9月契約で最初から繰越とした。

答弁 定住促進対策事業は、3件分が住宅改修未完了のため。

め。

質疑 前野消防防災課長
消防車庫移転事業は、恵比須田井から北河内へのパイパス工事に伴う日和佐第6分団の車庫移転。地元消防団の要望等の調整で入札時期が遅れた。

答弁 大三福祉課長
臨時特別給付金事業は、住民税非課税世帯が対象で、令和4年度末日終了と令和3年11月に閣議決定された子育て世帯で、令和3年3月31日の新生児までが対象。その分のみが繰越。



旧由岐病院跡地



移転する日和佐第6分団消防車庫(北河内)





外の牟岐線

答弁 濱建設課長

老朽住宅解体事業で、9件が年度内未完了。

道路橋梁費関係は、櫛ヶ谷2号線、馬路1号線、外の牟井線(旧田崎真珠付近)で地元調整や電線移設に日数を要した。

河川費関係は、急傾斜崩壊対策、寺込川護岸修繕で地元調整等に日数を要した。

都市計画費関係は、都市

下水路ポンプ場の修繕機械

の調達で、高台整備事業は県との調整で日数を要した。

地方創生港整備事業は、恵比須浜漁港照明改良設計業務で予算残が生じ、工事費用に充てる変更線越。

答弁 島村病院事務長

病院会計運営負担金は、半導体不足で機器(電子カルテ)納入の遅れ。

答弁 坂本教育次長

日和佐中学校体育館屋根改修は、建築確認の必要性から県との協議に日数を要した。

答弁 南社会教育課長

B & G海洋センター電気設備改修事業は、改修材料(高圧ケーブル)が外国から入らない。

質疑 戎野議員

中山間直接支払交付金は、美波町で何件か。

答弁 近藤産業振興課長

支出が、約2867万円20協定、面積が163万2120㎡である。詳細は決算で報告する。

採決 承認 (賛成9…反対1)

◆専決第12号

平成3年度美波町公共下水道事業特別会計補正予算

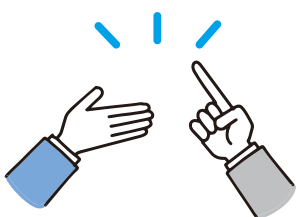
内容 歳入歳出予算等の補正 歳入歳出7186万7千円の減額

質疑 中川議員

下水道整備費の減額は線越のための減額か。

答弁 濱建設課長 予算調整による減額である。

採決 承認 (賛成9…反対1)



第2回定例会の概要

(令和4年6月8日～16日までの9日間)

影治町長から、6月定例会以降の町政の進捗状況及び定例会に提案された報告5件、条例議案1件、補正予算議案3件、人事議案1件、契約議案3件を審議した。

各議員の賛否 (全会一致の議案)

議 案		結果
報告第6号	令和3年度一般会計繰越計算書	承認
報告第7号	令和3年度漁業集落排水会計繰越計算書	承認
報告第8号	令和3年度公共下水道会計繰越計算書	承認
議案第32号	職員の育児休業条例の一部改正条例の制定	可決
議案第34号	令和4年度簡易水道会計補正予算	可決
議案第35号	令和4年度病院会計補正予算	可決
議案第36号	教育委員会委員の任命	同意

※議案の名称は短縮してあります。

各議員の賛否 (賛否の分かれた議案)

議長…一 賛成…○ 反対…×

議 案	議員名 (議席番号順)	鈴木健宏	北山朝彦	中川尚毅	松本晋児	岩瀬公	片山正敏	戎野博	遊亀聖悟	春田裕計	小部博正	丸龍孝敏	向山篤宏	結果
報告第9号	令和3年度一般会計事故繰越計算書	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	○	○	承認
報告第10号	令和3年度公共下水道会計事故繰越計算書	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	○	○	承認
議案第33号	令和4年度一般会計補正予算	○	×	×	○	×	○	○	○	—	○	○	○	可決
議案第37号	令和4年度赤松基幹集落センター耐震改修工事契約の締結	○	×	○	○	○	○	×	○	—	○	○	○	可決
議案第38号	令和4年度高台整備工事契約の締結	○	×	×	○	○	○	×	○	—	○	○	○	可決
議案第39号	令和4年度高倉橋修繕工事契約の締結	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
発議第2号	沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書	×	○	○	×	×	×	○	×	—	×	×	×	否決
発議第3号	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書	○	○	○	×	×	×	○	×	—	×	×	×	否決

※議案の名称は短縮してあります。

◆報告第10号

令和3年度公共下水道
会計事故繰越計算書

内容 汚水管渠工事第4工区
入札不調により年度内
に工事発注が出来なかつ
た。

質疑 北山議員
新型コロナウイルス感染症対策応
援地方創生臨時交付金(約
1458万円)の一部が、
議会のタブレット購入予算
になっている。なぜ議会費
でないのか。

答弁 浜総務課長
IT専門の室を置いた
関係で、一括管理している。
交付金の内約574万円が
議会ICTに係るタブレッ
ト端末購入費。

質疑 なし。

採決 可決
(賛成10…反対1)

◆議案第33号

令和4年度一般会計補
正予算

内容 既決予算額(66億40
00万円)に約1億6
326万円を追加し、総額
を約68億326万円とし
た。学校給食調理委託業務
を、令和6年度まで複数年
契約するため、限度額約5
512万円と債務負担行為
をする。

質疑 中川議員
負担行為の金額が2年
間なら、補正額(約170

万円)は少ないと思うが、
0万円)は少ないと思うが。

答弁 坂本教育次長
今年度は、8月から3
月末日の分である。

質疑 岩瀬議員
現在、年間いくら支
払っているのか。

答弁 坂本教育次長
町直営の場合、人件費
と消耗品費で約2129
万円支払っている。

質疑 岩瀬議員
私が計算すると、21
00万円もかかるようにな
らないが明細は。

答弁 坂本教育次長
7人分の日当に、23
5日で計算。それに、会計
年度任用職員の代替え職員
分(70日間)、福利厚生費
(300万円)、消耗品費(約
316万円)で合計約21
19万円で計上した。

討論 反対 岩瀬議員
給食業務委託には納得
できない。

採決 可決
(賛成8…反対3)

◆議案第38号

令和4年度高台整備工
事契約の締結

内容 公園造成他の整備
契約金額2億3430
万円

契約相手 (株)大竹組

質疑 中川議員
こども園の整備を先に
やるべきでないか。

答弁 濱建設課長
残土処理の問題もあ
り、先に1・8ヘクタール
の造成を行うことでこども
園の造成準備を進めること
としている。

質疑 戎野議員
今回の工事は全体工事
9分割のうち、何分割目か。
また公園整備の財源内訳及
び公園整備構想の内容は。

答弁 濱建設課長
現在の工事は概ね5分
割目である。財源内訳は国
庫補助事業(道路補助65・
4%、公園補助50%)、補
助金の95%が起債、残り
5%が町費である。
公園整備の内容について
は、上下水道の問題も含め、
ワークショップ等を開催し
ながら詳細を詰めていくこ
ととしている。

採決 可決
(賛成8…反対3)

◆議案第39号

令和4年度高倉橋修繕
工事契約の締結

内容 指名競争入札を2度執
行するが、入札者が1



調理業務委託予定の給食センター



高倉橋 (位置はP 6を参照)

社で不成立。唯一の入札者である株式会社菊谷組と、5714万5000円で仮契約を締結。

質疑 北山議員

2回の入札時の指名業者は何社で、どこを指名したのか。

答弁 濱建設課長

1回目の入札では、町外10社、町内1社を指名したが全社辞退。2回目の入札では、町外10社、町内1社を指名し、1社の入札が

あった。

質疑 北山議員

全社が辞退となった原因はなぜか。

答弁 濱建設課長

該当する資格を持つ技術者の不足と思われる。

質疑 北山議員

技術者の不足が一時的なものであれば、時期をずらして競争入札にできたのではないか。

答弁 磯野副町長

資格を持つ指名業者は、県が指定する業者を参考にした。技術者不足の解消の見通しは立っていない。国の補助事業でもあり、工期的にも、今発注しないと年度内（令和5年3月31日）までに完成しない。

採決結果 可決

(賛成10…反対1)

◆発議第2号

沖繩を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書

内容 沖繩への差別的な安全保障政策廃止、辺野古

新基地建設の断念、普天間基地の「本土」へ引取で、問題解決することを両院議長、内閣総理大臣、関係省庁の各大臣へ提出。

質疑 なし。

採決結果 否決

(賛成3…反対8)

◆発議第3号

消費税インボス制度の実施中止を求める意見書

内容 実施中止を求める意見書を本議会から出したい。

採決結果 否決

(賛成4…反対7)

議長・議員の主な活動状況

(令和4年3月定例会後～6月定例会)

- 5月23日 第2回臨時会(1日間) 全員協議会
 - 5月26日 常任委員会と特別委員会の設置等
 - 5月27日 美波町育英奨学生審査委員会
 - 5月27日 一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟総会(高知)
 - 5月30日 令和4年度町議会議長・副議長研修(東京)
 - 5月31日 要望活動(東京)
 - 6月2日 議会運営委員会
 - 6月2日 令和4年 第2回定例会日程等
 - 6月2日 全員協議会 ①美波町議会における議会ICT化の取り組みについて②令和4年度高倉橋修繕工事について③令和4年度高台整備工事(公園造成他)について④令和4年度赤松基幹集落センター耐震改修等工事について⑤美波町立学校給食センター給食調理等委託業務について
 - 6月8日 第2回定例会(9日間)
 - 6月10日 総務産業建設常任委員会(町内巡視)
 - 6月10日 防災高台対策特別委員会(町内巡視)
 - 6月15日 文教厚生常任委員会 ①学校訪問について②ネコの愛護及び管理について③給食センターの民間委託について
 - 6月16日 全員協議会
- 議会だよりの発刊について

7人の議員が 町政をチェック

一般質問

(通告の順で掲載)

丸龍議員	①災害対策本部設置の想定は	p11
向山議員	①有害鳥獣被害対策の充実を ②高齢者支援に地域内組織の育成を	p12
遊亀議員	①地域公共交通の拡充を	p13
小部議員	①中山間地域の耕作放棄地対策は ②外来生物防除の対策は	p14
北山議員	①公民館は社会教育施設か	p15
戎野議員	①日和佐浦地区2号排水路の浸水対策を	p16
中川議員	①木岐に病院連絡バスを回すことはできないか ②なぜ学校給食を民間委託するのか ③補助金制度の運用は適正か	p17

※全文を記載した議事録は町のホームページでご覧ください。

一般質問とは、町のさまざまな課題について議員が町に考えを聞く質問のことです。

議員は年4回開催される定例会において、政策提言も含めて質問をすることができ、内容は自由です。

質問と答弁がかみ合うよう事前通告制となっています。

議会の様子がホームページで見ることができます。

美波町議会の議案審議、一般質問、議事録をインターネット上で簡単に視聴することができます。

- ①表紙または右のQRコードの読み取り、もしくは「美波町議会」と検索。
- ②「インターネット中継」→「録画配信はこちらから」をクリック。
- ③「令和4年」→6月→「6/15(水) (一般質問) または「6/16(木) (議案審議)」
→動画再生 ※過去の動画も見られます。



※一般質問は質問者横のQRコードから動画再生ができます。※視聴には通信料がかかりますのでご注意ください。

一 般 質 問

1 災害対策本部設置の想定は

答 弁 風水害特別警報発令、震度6以上の地震及び大津波警報発令に自動設置する



丸龍 孝敏 議員



録画配信中

質 問

美波町は南海トラフ巨大地震で、甚大な被害が懸念される。町は、大規模災害発生時に、災害対策本部をどのような場合に設置するのか。また役場の業務の継続をどのように考えているのか聞きたい。

● 答 弁 影 治 町 長

災害対策本部は、風水害時の特別警報が発表、地震・

津波災害時の震度6以上の地震が発生及び大津波警報が発表されたときに、自動設置する。また、町内で相当規模の地震災害が発生したとき等に、判断設置する。業務の執行体制や対応手順、必要な資源の確保や配分等を定めた、美波町業務継続計画BCPを策定し、発災直後の業務レベル向上を計っていく。

質 問

役場本庁舎は浸水区域内のため、対策はどのように考えているのか。非常時にすぐに職員が参集できるのか。

● 答 弁 影 治 町 長

役場の対策は、発災時の情報伝達等、初動体制の確保が懸念されるので、町長室、副町長室、総務課、消防防災課の指揮調整機能を2階に移設する。なお、工事費については、令和5年度予算に計上する予定である。



美波町業務継続計画 (BCP)
令和3年3月策定

また、浸水等により、職員が

役場に参集できない事態も想定し、当分の間、

日和佐中学校を災害対策本部設置の代替施設とする。また、由

岐支所も浸水区域内にあり、美

波病院の3階を災害対策支部とする。

質 問

今後の取り組みの方針は。

● 答 弁 影 治 町 長

今後の取り組みは、建設課が進めている高台整備工事は、防災公園に防災センター（仮称）の建設を計画しており、そこに災害対策本部の機能が必要と考えている。

なお、役場等の公共施設は津波浸水想定区域外へ移転等の検討に取り組む方針



指揮機関訓練 (図上訓練)

である。現時点では、日和佐こども園の移転以外に、具体的な計画はない。また、災害対策本部の運用として、昨年度から南部総合県民局の協力で、指揮機関訓練、図上訓練に取り組んでいる。

猟友会による有害鳥獣捕獲頭数 (単位:匹)

年 度	平 成 (年度)		令 和 (年度)		
	29	30	元	2	3
シ カ	880	889	772	668	621
イノシシ	335	279	363	260	275
サ ル	63	101	105	79	159
そ の 他	174	115	298	352	230
計	1,452	1,384	1,538	1,359	1,285

※その他は、タヌキ・ハクビシン・アナグマ

有害鳥獣捕獲奨励交付金 (単位:万円)

年 度	平 成 (年度)		令 和 (年度)		
	29	30	元	2	3
金 額	2,199	2,153	2,108	1,683	1,970



サル用移動式大型捕獲檻 (西河内)

答弁

1 有害鳥獣被害対策の充実を

猟友会会員増へ講習会開催を検討



むこうやま あつひろ
向山 篤宏 議員



録画配信中

質 問

有害鳥獣被害は相変わらず多いと感じる。猟友会員数の推移、年代層、免許種類毎の所持者数の推移、また会員増への取り組み及び育成について聞きたい。

●答弁 近藤産業振興課長
会員数は、平成30年〜令和3年は34〜35名、令和4

質 問

令和2年度に設置した、サル用移動式大型捕獲檻の効果及び今後の整備は。

令和2年度に設置した、サル用移動式大型捕獲檻の効果及び今後の整備は。

●答弁 近藤産業振興課長
年は39名である。会員の年代層は、30〜80歳台で、平均年齢は64歳である。免許の所持者数の推移は、罾は増えているが、銃は9人で変化はない、また会員増への取り組み、育成については、広報で免許情報の周知、また講習会等を検討したい。

●答弁 近藤産業振興課長
木岐で15頭捕獲した。捕獲檻は一度に複数頭捕獲できるため、今後2基を整備予定である。

質 問

今後の被害軽減対策、またモンキードッグの導入は。

●答弁 近藤産業振興課長
防護柵の設置を推進し、罾管理の軽減策としてICTの活用、また処理加工施設の整備を調査、研究したい。モンキードッグの導入は効果を調査したい。

2 高齢者支援に地域内組織の育成を

答弁 地域福祉活動担い手づくりの講座開催へ

質 問

町民から意見や要望を聞く機会は、十分とは思えない。聞こえにくい大切な、また切実な思いを聞き行政に生かすための地域座談会の開催は。

●答弁 岸本政策推進課長
町民の声は、可能な限り町政に反映するべきと考える。新型コロナウイルスの状況を見極めながら、地域座談会の開催を検討したい。

質 問

高齢者の生活の維持は、以前から美波町の課題である。高齢者の生活の支援のため地域内組織(有償ボランティア等)の育成については。

●答弁 大三福祉課長
コロナ禍中でもあり、組織の育成は出来ていない。今後は、地域福祉活動の担い手づくりのため、生活支援講座などの開催を考えている。

一 般 質 問

① 地域公共交通の拡充を

答 弁
公共交通会議等で検討



議員 悟 聖 遊 貴
きょうご せいご ぎん



録画配信中

質 問

高齢化が急速に進む本町において、車の利用が困難な人が増えてきている。またこのような状況は、加速度的に進むことが予測されている。阿部地区、伊座利地区のみならず、日和佐浦地区含む町内各所においても病院や買い物時の移動が負担になっている。タクシー助成や病院連絡バス等の施策では十分ではない。このような状況下の元、地域

公共交通の充実に向けて、どのように目標を決めて取り組んでいるか。またどういったスケジュール感を持っているか。

● 答 弁 浜総務課長

現状、病院連絡バス、高齢者タクシー助成事業を実施している。タクシー助成については、毎月400件程度、遠距離で利用される方は、複数人で利用する等工夫されていると聞いています。コミュニティバスなどの公共交通事業等については、現時点で経費的に現実的ではないと考えており、現在の美波病院等連絡バス、高齢者タクシー助成事業の継続を目標としている。

質 問

先程の答弁で2つ考えるべき点がある。1つは現状認識の部分。タクシーを複数人で乗り合わせて利用する時点で、利便性は低いのではないか。金銭的部分が負担になっているのではないか。2つ目は持続性の部分。人口減少が進み、町財政が苦しくなると今の助成額を減らしていくのか。利用される高齢者が増え、2人で乗り合わせていたものを3人4人と増やしていくのか。連絡バスやタクシー助成制度は、町の財政全体を見たときに現時点では適切な支援かもしれないが、10年・20年先を考えたときに今のやり方に継続性があるとは考えられない。このような状況の下、今後IT技術等を活用した新たな地域公共交通の形を検討していく予定はあるのか。

● 答 弁 浜総務課長

公共交通会議等で継続して検討は重ねて行きたい。



一 般 質 問

① 中山間地域の耕作放棄地対策は

答弁 交付金等活用で保全活動組織を支援



こ べ 部 ひろまさ 博正 議員



▶ 録画配信中

持続していくには、傾斜農地という特性を活かせる農産物の導入や、高齢農業者に適した省力作物への転換などによる、所得向上のための対策も重要。そのため農業政策は。

● **答弁** 近藤産業振興課長

質 問 農業従事者の高齢化と過疎化に伴う労働力不足が深刻化する中山間地域において、小規模な傾斜農地が適切に継承管理されずに耕作放棄地として急増していることが懸念されるが、基盤整備等が困難なこれらの耕作放棄地の急増に、どのような方針で対策を講じるのか。

美波町では、中山間地等直接支払交付金、多面的機能支払交付金を活用して、地域の共同活動を通じた農地・農業水利施設の保全を行う組織を支援している。令和3年度の中山間地域等直接支払交付金は、集落協定数20、交付額2867万円余り。多面的機能支払交付金は、活動組織数10、交付額366万円余りになる。国の産地交付金の助成も活用し、買取価格が高い飼料用米の作付や、作業が省ける飼料用稲を推進してお

り、農業所得向上目的としては、ブルーベリー、ゆず、スダチ、レモン導入への苗代等を補助している。今後は、関係機関と協議をしながら、中山間地域でも生産性の上がる作物の選定や、高齢者に適した軽量作物の品目も検討していく。

② 外来生物防除の対策は

答弁 住民・関係機関と協力して防除する

質 問

特定外来生物として駆除対象となっているオオフサモ

が北河内本村地区の水路に繁殖しており、その防除を進めるものとしており、北河内地区においては、住民が除去したものを町が回収・乾燥し、焼却処分している。

地方公共団体は、民間団体、土地の所有者及び管理者等の関係者が連携して防除を進めるものとしており、北河内地区においては、住民が除去したものを町が回収・乾燥し、焼却処分している。

除が地域の課題となっている。オオフサモは繁殖力が強く、密生して水路を埋め尽くすため、在来生物や環境への悪影響だけでなく、流水阻害による冠水被害等も懸念される。外来生物問題への方針と、その対策は。

● **答弁** 寶木住民生活課長

オオフサモ等の除去については、法律に基づき策定された県の基本方針等に示

今後の防除対策としては、監視に務め、流出を阻止すべく、発見したら速や



急増する耕作放棄地



駆除対象になっているオオフサモ

一般質問

① 公民館は社会教育施設か

答弁
公民館全部、社会教育施設である



北山 朝彦 議員
きたやま あさひこ



録画配信中

質問

ある地域で、コロナ禍の影響等で引きこもり状態だ

つた高齢者が、気の合う友達の家集まり話す場を生きたがいに、前向きに過ごしている。

また、美波町立公民館設置・管理条例にある、32カ所の公民館のうち旧日和佐地区公民館で利用状況を示す資料が残っていない。そこで、社会教育は、教育基本法（第12条）、社会教育法（第2条）で定義され、公民館は、社会教育法（第

20条）で明記されている。それで公民館は社会教育施設と考えるが町の考えは。

次に、公民館の管理協定書（第6条）で維持管理費用は3年間同じだが、施設事業報告書の内容によって変わるのか。また、修繕は指定管理者が負担（10万円）するとあるが、修繕の範囲は、年数の劣化等では設置者が修繕するのが当然だが町の考えは。

次に、美波町立公民館利用規則（第7条）で地域の老人（原則60歳以上）が利用するときとあるが、グループの場合の対象範囲はどうか。

●答弁 南社会教育課長
美波町立公民館は、町直営が2館（由岐・日和佐公民館）、指定管理の地区公民館が27館、町が建設に係わっていない建物が1館、館はないが公民館活動をしている公民館が1館と四種類の公民館がある。中央公民

質問

館の、日和佐公民館は、令和3年度は1万3535人、由岐公民館は、2889人の利用者があった。使用料の減免対象範囲は、地域の老人（60歳以上）が、だいたい半分居る場合適応する。

●答弁 南社会教育課長
公民館は、全部社会教育施設である。

四種類の形態があると言うが、美波町立公民館は、美波町立公民館設置・管理条例と美波町立公民館利用規則の三つの法規で規定している。どのように運用しているのか。
ある地区公民館の使用状況を見ると、平成28年度から平成



公民館を利用する民踊同好会の皆さん

一 般 質 問

①日和佐浦地区2号排水路の浸水対策を

答 弁 公共下水道工事に併せ、ポンプ・フラップゲート設置を県と協議し検討する



ひろしの博 議員
えびすの 戎野



▶ 録画配信中

質 問

昨年、2021年9月8日の大雨により、山王谷からの2号排水路の浸水により谷屋裏から東町・日和佐浦地区にかけて床下浸水被害が発生した。14年前（2008年4月8日）から大雨浸水を来し、要望提出、改善を求めているが2号排水路の改修と公共下水道改修に併せるかの回答で放置されたままである。



谷屋北裏
2021年9月8日撮影



日和佐漁協北側方面
2021年9月8日撮影

谷屋横排水路の水道管の移設

2号用水路と漁協横排水路の浸水を河川にポンプ放流をさせるためのポンプ設置と逆流防止型の樋門（フラップゲート）設置の準備を県の防潮堤延長工事に併せて計画しておくべきではないか。

雨水対策として路地の排水

水溝拡張、グレーチングの改修を進めるべきではないか。

● 答 弁 濱建設課長

2号水路の断面不足の拡張は公共下水道事業の整備に併せ進める。

谷屋横の用水路内横断の水道管移設は下水道事業に併せ移設する。

2号水路の計画は公共下水道整備事業と調整し、フラップゲートは防潮堤工事に併せ県工事により、設置するようになっていく。

以前から要望の排水ポン

プ設置は排水路改修、防潮堤・フラップゲート整備の状況に併せ県、漁協と協議し検討を進める。

日和佐浦地区の路地・溝の工事は今の側溝を撤去し、町道内に15センチの汚水管を地下60センチ以上に埋設、新しい側溝を設置して舗装していく計画。

質 問

14年前からの被害改善に対して年月が掛かり過ぎていますが、2号用水路からの分流を将来の都市計画道路へ繋げていくことで浸水改善をする展望を、県を含めて進められないか。

● 答 弁 濱建設課長

水路の拡張は難しいが浸水対策については下水道工事に併せ排水対策を検討したい。

一 般 質 問

① 木岐に病院連絡バスを回すことはできないか

答弁
難しい



なかがわ なおき 中川 尚毅 議員



録画配信中

● 答弁 浜総務課長

JR牟岐線は県内一の赤字路線で、バスを走らせるに赤字を増幅してしまう恐れもある。病院連絡バスは、JR由岐駅のダイヤを組んでおり、木岐地区の利用者へ配慮をしている。また高齢者タクシー助成事業も充実させている。

仮運行は契約上難しい。公共交通会議で検討は継続する。

質問
試しに1カ月だけ、1日1便（行きだけ）など検討できないか。



美波病院連絡バス

② なぜ学校給食を民間委託するのか

答弁
民間委託で調理員を確保したい

質問

給食の調理員が集まらない原因を調査したのか。給食の質や量は適正か。

国際的、国内的な状況から食材も高騰するが、保護者の負担軽減はするか。

● 答弁 坂本教育次長

令和3年9月、由岐学校給食センターを日和佐学校給食センターに統合した。調理員8名が、令和3年度末には5名になった。調理員を募集したが人数を満た

すことができず、調理を外部委託したい。学校給食摂取基準により、栄養教諭が献立を作成している。

平成26年度から食材の値上がり分は町で負担しており、これ以上の負担軽減は考えていない。

③ 補助金制度の運用は適正か

答弁
持続化に資する場合は支援する

質問

農山漁村持続活性化推進事業費補助金は、担い手不足の地域組織を支援する有意義な制度であり、町民に周知すべきではないか。

調査を求め、「瑕疵は治愈した。」と回答があったが、どういうことか。

申請内容に不正や虚偽があつても受け付けるのか。ある用水組合役員が、組合員に無断で申請し、用水の修繕と異なる法面の補修工事を行った。産業課にこの

● 答弁 近藤産業振興課長

この補助金は、農山漁村広報を活用し周知したい。

地域の持続及び活性化を目的とした事業に補助金を交付する。事前に産業振興課へ問い合わせ、相談をし、産業振興課は事業概要を聞き取り、現場確認を行って

いる。申請に不正、虚偽などがあれば受け付けないが、過疎高齢化で構成員の負担が増えるなかでは、持続化に資する場合は支援をした。調査の結果は、回答書のとおり。

高台整備の現状を確認



議会だより発刊にあたり

定例会毎に発刊しておりました「美波町議会だより」が過去5回にわたり町民の皆様にお届けする事ができなかった事に対して美波町議会としてお詫びを申し上げます。

発行にいたらなかった理由として、一議員に対する「美波町議会議員政治倫理条例」の取扱いが主な論点で、編集、発刊に対する委員及び議員間の意見の相違が原因であったかと思えます。

結果的に議会だよりを皆様に御覧いただくことが出来なくなり、その後も尾を引いた形が生じてしまい本来ある広報活動が思うようにいきませんでした。新しく議会がスタートし、いつまでもこの様な状態が続くのは町民の利益とならないと判断し、一度過去を反省した上で前向きで正常な議会活動が行えるよう努めて参りたいと考えております。

御意見は多々あると思いますが、今後も新しい委員の下、よりよい議会広報活動に努めて参りますので、何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。

美波町議会議長 春田 裕計

● 議会広報特別委員会 ●

〈委員長〉北山朝彦 〈副委員長〉小部博正
 〈委員〉片山正敏 鈴木健宏 遊亀聖悟

お問い合わせ・ご意見は TEL:77-3630

徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1
 E-mail: gikai@minami.i-tokushima.jp